



岡田美佳 刺繍画展 「窓を開ければ…春」

2011年2月17日 木 ～ 23日 水

渋谷駅・東急東横店 南館8階 アートサロン

従来の刺繍という枠を超えた技法で、独特な世界観を表現する刺繍画家岡田美佳(1969年～)。大胆さと繊細さを合わせ持つステッチと色使い。さまざまな形や素材が織りなす表情豊かな画面。作品は刺繍ならではの温かな質感に加えて、絵画のような光の輝きとレリーフにも似た存在感に満ちています。本展は、「食卓」とともに長く描き続けてきた「窓」のある風景をテーマに、作品の魅力に迫ります。内と外を結ぶ窓は、観る者を絵の世界に誘う不思議な力を持っています。「窓」の登場する秀作とともに、心に春を呼ぶ作品を多数出品いたします。

壁にポカリと穴を開けたような《明かりをつけて》の窓 (fig.1)。そっと中をのぞけば、カタクリやブルーベルの花が咲く森の小道 (fig.4)。若葉のトンネルをぬけると、そこは春爛漫の里山。豊穡な色彩と光が晴れやかなメロディーを奏でています。(fig.2.3)

ご馳走が並ぶテーブルに優しい光を降り注ぐ窓。爽やかな春の風が吹き込む一瞬を捉える窓。(fig.5.6.7)
時空を超えて見知らぬ異国の街を映す窓 (fig.8)。閉ざされた静謐な世界を包むステンドグラスの窓 (fig.9)。青い空と陽射しを浴びる草原を窓辺の花瓶が見つめている《ガラス器》の窓 (fig.10)。窓は、いつも私たちのそばにあって、遠い日の記憶を映し出すのです。

作品に描かれた窓を通して、心を解き放す安らぎの世界に浸っていただきたく存じます。

岡田美佳後援会